

白井市文化センターのあり方検討委員会第9会議（概要）

- 1 開催日時 令和5年1月24日（火）午後3時30分から午後4時45分まで
- 2 開催場所 白井市文化センター2階かおり（中）ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員 小川真実委員長、三浦永司副委員長、土屋博之委員、比屋根健委員、山口一郎委員、関口文子委員、中島恵委員、板橋章委員、鈴木隆宗委員、藤川敦史委員、榛沢宏一委員、山本美智子委員
 - (2) 欠席者 久富清敏委員、五十嵐真人委員
 - (3) 事務局 井上教育長、本間教育部長
文化センター 高花センター長、落合副主幹、鎌田図書館長、矢ヶ部主査、芳賀係長、岸下主査補、山田学芸員
文化センターのあり方のあり方検討支援業務受託者
株式会社シアターワークショップ 伊東、佐藤、山本、真木
- 4 傍聴者 7名
- 5 議題等
 - (1) 提言書（案）の検討について

（会議概要）

・第8回会議での意見等を踏まえ、事務局で修正を行った提言書（案）について、内容の確認を行った。各館について、修正後の方針案は以下の通り取りまとめられた。

- ①施設全体：文化センターのハードとしての機能は維持する。
- ②大ホール：安全性の維持を前提に大ホールの規模は維持、機能（舞台設備等）は縮小して大ホールは存続する。
- ③中ホール：中ホール機能は一部廃止し、収益施設の導入、他の公共施設機能の導入などスペースを有効活用する。
- ④図書館：維持し、規模については蔵書・開架面積は縮小し社会変化に合わせた利用形態に対応した新たな機能を入れ込む。
- ⑤郷土資料館：機能は維持し、展示・収蔵等という形で使う。展示室の規模を縮小し余剰面積を収蔵スペースに転用する。文化センターの外にも収蔵機能を移転できるかを検討する。さらなる収蔵場所の確保については、他公共施設への移転・デジタルアーカイブ化・近隣自治体との連携を検討する。
- ⑥プラネタリウム館：学習利用において重要な役割・市の顔となる施設であるため現状維持するという意見と、近隣にプラネタリウム館があること、学習利用はウェブ上のサービスで代替できることなどの理由により機能を廃止とするという意見の両論併記とする。
- ⑦エントランスと共用スペース：新たな機能の付加・喫茶スペースの活用を行う。

今回の会議で出された意見等を修正し、提言書完成版の作成へと進めていく。提言書は教育長に提出され、その後、教育委員会へ報告される予定となっている。

(会議内容)

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議題

- ・事務局より資料に基づいて説明。
- ・出された主な意見、質疑等と対応

※市職員が委員の構成メンバーの中に含まれているため、質問に対して事務局ではなく委員が回答しているものもある

(1) 提言書(案)の検討について

<文書の体裁等について>

委員 この一連の会議の中で言われていた「あり方」というのは、文化センターの拡大・現状維持・縮小・廃止のことだと思う。明記しておいた方が良いのではないか。

事務局 承知した。

委員 宛名が教育長の氏名に「様」となっているが、敬称は「様」ではなく「殿」ではないか。

事務局 市の公文書の書き方を確認し、対応する。

<施設全体>

委員 各施設について、部分的に収益性を高める、新しい収益も見込んだ事業を行うという文言を全館の部分の文章に入れる必要はないか。

委員 図書館は収益施設ではないためすぐわないのではないかと思う。全館で記載する場合は注意が必要。

委員 では、全館としては記載しなくて良い。

<大ホール>

(意見無し)

<中ホール>

委員 中ホールは縮小・廃止が5人ずつで廃止の方針になっているのに対し、プラネタリウム館は維持・廃止が7対5で両論併記となっている。この違いについて認識を共有しておきたい。

委員 維持と廃止はベクトルが逆だが、縮小と廃止は方向性が同じだからという議論だった。

委員 中ホールは、用途の変更、収益施設の導入及び他公共施設機能の導入などを検討し、スペースを有効活用すべきという意見が多かったと思うので、「廃止すべき」は言い過ぎではないか。ただ、両論併記には至らないと思う。

委員 中ホール全体を廃止するというより「機能の廃止」というように表現を変えてはどうか。

事務局 「中ホールの機能の廃止」と修正する。

<図書館>

委員 縮小について、どの程度の面積を縮小するかは記載しないか。

委員 具体的な面積等の議論はこの委員会に課せられた検討課題ではなく、教育委員会の中で議論されることだと思う。

委員 どの程度の規模が適切か、現状は不明確であることと、「新しい機能を導入」「セキュリティシステムが導入できていない」と書いてしまうとセキュリティシステムの導入を検討するのかと思ってしまうことの2点が気になった。

事務局 規模については、将来的なことを検討しながら今後詰めていくことになると思う。蔵書へのセキュリティシステムの導入が費用的に導入できていないことは事実として追記する。

<郷土資料館>

(意見無し)

<プラネタリウム>

委員 「採算性がない」は言い過ぎなので後述の利用頻度の件と併せて「採算性が低い」に表現を変えてはどうか。

(反対意見無し)

<エントランス・共用スペース>

委員 ここはいろいろなアイデアを出していくという趣旨だと認識している。検討委員会だけでは出尽くしていないアイデアもあると思うので、アイデアの公募等を行う等の一文を足しても良いのではないか。

委員 それは良いと思うが、前提としてエントランスは人が出入りする場所なので安全性を担保したうえでのアイデアという趣旨が伝わると良い。

<その他>

委員 概算算定一覧竹案には、中ホールの舞台の費用も改修費用も含まれているが、私たちの提言ではこの舞台機能は廃止するということだったと思うので、こちらは分かりやすくした方がよいのではないか。また、プラネタリウムは廃止と存続の2案で出しているのので、プラネタリウムを維持するためには改修費用だけではなくて維持費用もかかってくるという添付資料を付けてはどうか。

事務局 この竹案については、施設を今と同じ機能に戻した場合にかかる費用という前提で提示している。改修の例示としていくつか出ているが、具体的な改修案ができていない中で新たに費用を概算するのは非常に難しい。現状維持以外の案の費用面については、今回の検討委員会では検討しきれなかったと事務局では考えている。